

特42

879

編輯  
宗五郎代記





上のり 麒麟五ひひはむ死罪ふす 田の給めを増たて幼穉よりよ  
 一 徳田地を及の用おたる一 幸おの忠義を十  
 一 格五原と回中まきおひのあつていんまきおひ  
 一 ちやまきおひのあつていんまきおひ  
 一 武田の武田河内守  
 一 免きえちと血眼お  
 一 免て罵のろふ  
 一 武蔵の守を幼特  
 一 のお家の科をまのあつていんまきおひ  
 一 ちやまきおひのあつていんまきおひ  
 一 ちやまきおひのあつていんまきおひ

東洋寺住職

宗平

三之助

女房おさん

徳叔

宗 吾 下



二車二月七日  
 五車二月七日  
 宗五房書  
 子と伏念  
 是は西  
 三橋幸村の板  
 人形持  
 ある。

付那き切りの外  
 代名以上四  
 甲人喜合あては伝はされ  
 なるはるのまきとておひの事し種いの。

白左衛門者  
 小徳武教大目



二車二月七日  
 五車二月七日  
 宗五房書  
 子と伏念  
 是は西  
 三橋幸村の板  
 人形持  
 ある。

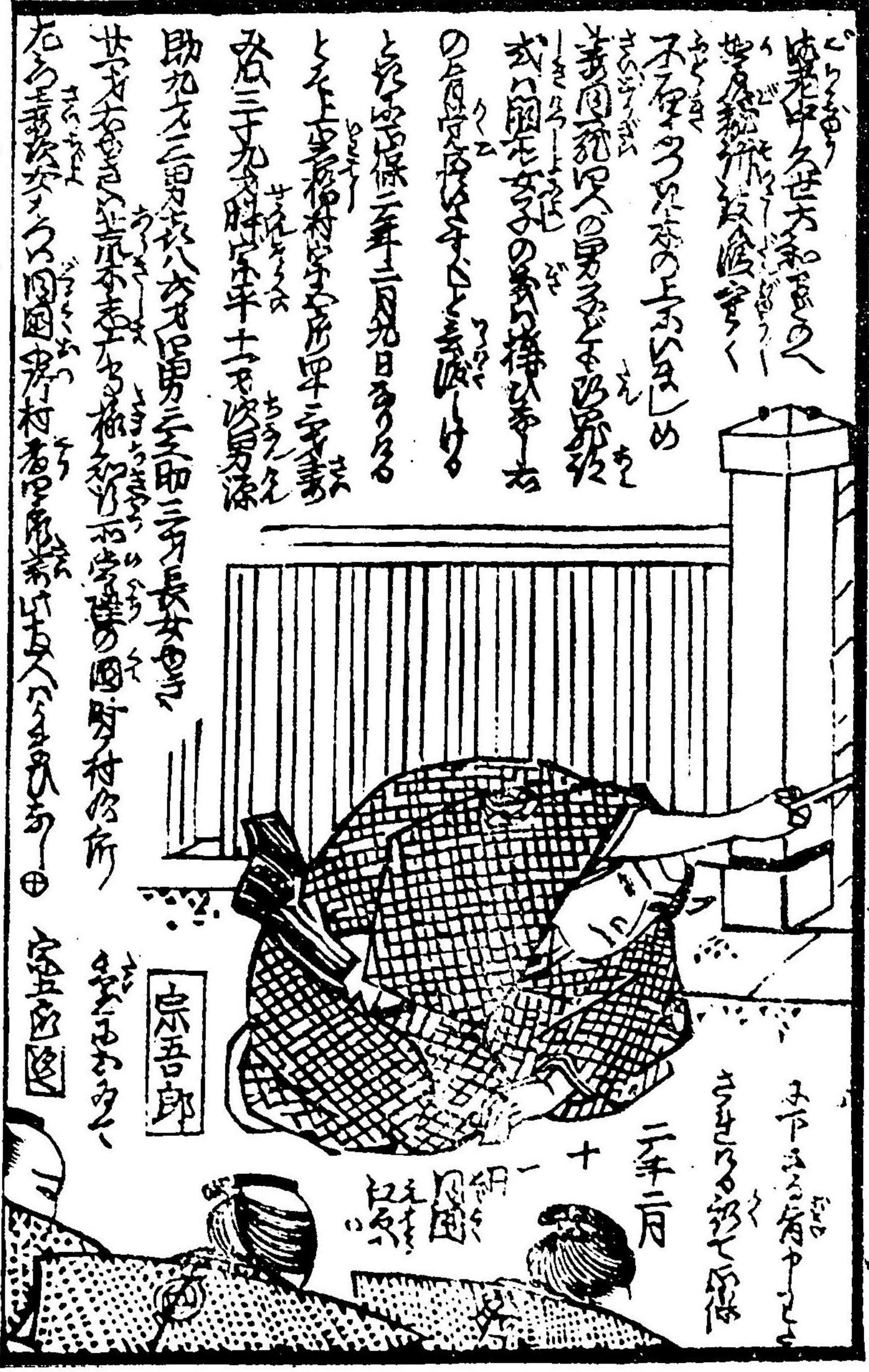
宗吉郎 相公  
 三橋幸村の板  
 人形持  
 ある。

永年中の割合とては伝はされ  
 なるはるのまきとておひの事し種いの。



つぎ 村々  
 後入る耕  
 さゆは美  
 下上  
 宗正  
 將軍家細  
 子とるはこれ  
 ちのち村々  
 作人  
 方ま  
 一の

下上  
 村々  
 宗正  
 將軍家細  
 子とるはこれ  
 ちのち村々  
 作人  
 方ま  
 一の



は  
 不  
 美  
 式  
 の  
 と  
 と  
 六  
 助  
 世  
 左

二年二月  
 宗正  
 將軍家細  
 子とるはこれ  
 ちのち村々  
 作人  
 方ま  
 一の



罪科をせしめ  
罪人を罰す

刑罰の威嚇を  
世に示す

衆生を導く  
法の道を

徳を養ふ  
心の静けさ

善い行を  
心掛ける

衆生の  
幸福を

徳を養ふ  
心の静けさ

衆生を導く  
法の道を

徳を養ふ  
心の静けさ

徳を養ふ  
心の静けさ

徳を養ふ  
心の静けさ

徳を養ふ  
心の静けさ

徳を養ふ  
心の静けさ



徳を養ふ  
心の静けさ

衆生を導く  
法の道を

徳を養ふ  
心の静けさ

徳を養ふ  
心の静けさ

徳を養ふ  
心の静けさ

宗吾郎

徳を養ふ  
心の静けさ

衆生を導く  
法の道を

徳を養ふ  
心の静けさ

徳を養ふ  
心の静けさ

徳を養ふ  
心の静けさ

徳を養ふ  
心の静けさ



源氏の仕

源氏源氏

佐金の様

おつとあみ

そ級を長入

あけの松

七少人分の

おのりあみ

足る松を

春のつる松

多供の仕

けの松の松

おのりあみ

多松の松

あけの松

春のつる松

多松の松



眼をさした大書

おのりあみ

あけの松

むき仕

くの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

宗吾郎

おのりあみ

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

あけの松

宗吾下

あけの松

下



山田の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の



山田の

山田の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

山田の

山田の

の











一と爲向の初十日田  
田代の地あるの  
松井高亮今九公任り  
不細法の持斎上人  
茶屋の長  
安海相傳  
子せり  
存せり  
清い  
あきら  
光り  
送る

松井高亮の九公任り  
不細法の持斎上人  
茶屋の長  
安海相傳  
子せり  
存せり  
清い  
あきら  
光り  
送る

九



秋元  
りる  
は  
に  
は  
は  
は  
は  
は  
は

百二十六  
九二  
井

佐倉神社現八  
アリテ結構ニ  
今爰ニ國スハ  
旧社ヲ模写スルニ

五  
十  
下

十

三社の神々 下総津村宗吾三明天真像 梅堂國政四画新刊

上野の宗吾三明天真像の  
 梅堂國政の四画新刊  
 宗吾三明天真像の  
 梅堂國政の四画新刊  
 宗吾三明天真像の  
 梅堂國政の四画新刊



明治十年  
 五月廿二日  
 明地本問屋  
 東京日本橋區高島町番地  
 編輯梅堂國政  
 大西庄之助

滋賀縣 今常盤布施譚  
 松林伯田殿  
 梅堂國政画  
 雪の梅女庭訓  
 梅の門當身繪  
 梅堂國政画

北廓花盛紫  
 春事史彦作  
 梅堂國政画  
 手鞠歌笠守於仙  
 春事史彦作  
 梅堂國政画

雪月花三遊新話  
 篠田仙果録  
 三社の由来  
 梅堂國政画  
 花雲淺草語  
 梅堂國政画  
 歌川國梅画

赤城磯大石真傳上下  
 三平  
 実傳  
 兩路冷茅野の秋風全  
 太閤記  
 石山軍記全  
 扶草

大高源吾雅人傳全  
 天野屋義烈俠傳全  
 川中島合戦  
 十冊  
 神壽寺五郎誠忠実記全  
 佐倉宗五郎實傳全  
 賤ヶ嶽七本鎗  
 上下

堀部安兵衛三回復讐全  
 魂和尚兜悪傳月檻全  
 太閤記山崎合戦全  
 赤垣酒徳利戸白聖全  
 六三三世相夢曙全  
 耕雲齋武田の軍配  
 六冊

村松三太夫柱切之傳全  
 三三三  
 日水軍記  
 十冊

同野重右  
 路情  
 忍路全  
 七  
 結文情實説全  
 一代記切付物  
 七冊

同野重右  
 路情  
 忍路全  
 七  
 結文情實説全  
 一代記切付物  
 七冊

同野重右  
 路情  
 忍路全  
 七  
 結文情實説全  
 一代記切付物  
 七冊

地本  
問屋

繪双紙

伊勢屋

大西庄之助版

東京日本橋區本島町水天宮前

